

社会福祉法人 多摩同胞会
事業報告(概要抜粋)

I-1. 法人概要

平成29年度に施行された改正社会福祉法に基づくガバナンス体制が整備されたが、平成31年度(2019年度)は2期目を迎え理事の改選期となった。理事全員が再選され、理事長、業務執行理事も再任が決定した。

業務運営面では、本年度から基幹システムとして導入された「ケアカルテ」の定着に努めるとともに、効果的な組織運営を目指して、2020年度実施に向け、職員勤怠システムの導入準備を進めた。

内部統制面では、内部管理体制の基盤整備として進めてきた「コンプライアンス管理規程」、「リスク管理規程」が施行となり、職員への内部管理の必要性および仕組みの周知徹底に努めた。また、導入3年目となる会計監査人監査では、引き続き高い評価とともに無限定適正意見の表明を受けた。7月に実施された東京都の現地検査では、全体を通して概ね良好な運営状況と認められたが、一部東京都との協議により定款変更が必要となる事項が生じた。

施設管理面では、網代ホームきずなの改築工事が竣工する。かんだ連雀においては、東京都及び千代田区の2か年計画で居室空調設備等省エネ改修工事等に着手した。また、年度末になり、新型コロナウイルス感染症の拡大の恐れへの対応として対策本部を設置し、対応策の検討を進めた。

法人創設以来中城元理事長と歩みを共にされ、長年にわたって法人のために尽力された坂本名誉理事長が、9月6日、102歳というご長寿を全うされた。法人葬として坂本家と合同で葬儀を営み、現役役員、OBをはじめとして多くの関係者で別れを惜しんだ。

1) 職員状況

- ・年度当初(2019年4月1日)在籍正職員292名(高齢施設253名・母子施設39名)で始まり、年度末は(2020年3月31日)在籍正職員293名(高齢施設255名・母子施設38名)であった。
- ・入職者19名(高齢施設17名・母子施設2名) 退職者15名(高齢施設14名・母子施設1名) 離職率5.14%(27年度10.3%、28年度8.88%、29年度7.56%、30年度5.48%)となり、年々職員の定着が安定してきている。
- ・60歳定年後の再雇用職員(嘱託含む)は20名(常勤14名・非常勤6名)でありほとんどの職員が定年後も継続就労している。今年度定年退職者8名も全員再雇用契約となった。
- ・施設間異動は、4月に30名(高齢施設のみ)、7月3名、10月1名(いずれも高齢施設)の計34名実施した。
- ・年度内に産休、育児休業制度を17名が利用し、うち年度内に8名が復職した。また男性職員の育児休業取得は2名(高齢、母子施設各1名)であった。
- ・平均勤続年数 11.4年 平均年齢 40.4歳 男女比 男性44%、女性56%
- ・採用試験 年間7回実施(応募者36名、採用内定25名、合格率69%) し、2020年4月採用となる新卒者は5名であった。(介護職員2名、食事係3名)